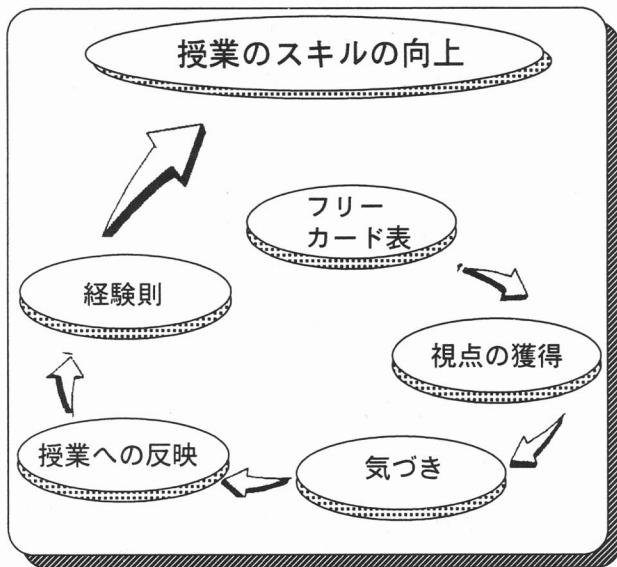


授業スキル向上のプロセス



4 検証の方法について

(1) 研究①

- 命題「授業観察の視点が多い ⇒ 教職経験年数が長い」の検証について

フリーカード法未経験者を対象にフリーカード法を実施し、次の分析調査を行う。

【調査A】

カードの枚数と教職経験年数との相関関係調査

【調査B】

カード記述内容の分析調査

(2) 研究②

- フリーカード法のメリット、デメリットの調査について

【調査C】

フリーカード法体験者に対するアンケート調査

* なお、フリーカード法の継続活用による効果を明らかにするため、フリーカード法を継続して活用している学校（安達郡東和町立木幡第二小学校）を研究協力校として依頼し、上記と同様の調査を実施して検討を加えた。

(3) 調査対象

- フリーカード法未経験者群

～中・高教育方法実践講座参加者

* 経験年数による構成

経験年数	人数	中学校	男	女	高校	男	女
0～5	6	6	3	3	0	0	0
5～10	19	17	14	3	2	1	1
10～15	14	12	12	0	2	2	0
15～20	10	8	6	2	2	2	0
20～	1	1	1	0	0	0	0
計	50	44	36	8	6	5	1

平均教職経験年数 10.6年

- フリーカード法経験者群～木幡第二小学校

* 経験年数による構成経験年数

経験年数	人数	男性	女性
0～5	3	0	3
5～10	6	5	1
10～15	2	1	1
15～20	1	1	0
20～	1	0	1
計	13	7	6

平均教職経験年数 8.3年

* フリーカード法を取り入れて2年目となる。校内授業研究会を実施する際に毎回実施し、協議会の資料としている。今回研究対象とした授業研究会で8回目である。

IV 研究の実際と考察

1 研究①

(1) 研究の手順

平成9年度「中・高教育方法実践講座」参加者を対象に、授業のビデオを視聴しながらフリーカード法活用による授業分析を実施した。

事後、カードを教職経験年数を記して提出してもらい、分析した。